

『WHY』から始める、 あなたらしい価値創造

～知的財産を味方に、アイデアを磨き続けるアントレプレナーシップ～

本講座の目的

あなた自身の「WHY (なぜ)」を起点に、知的財産への理解を深め、社会に新しい価値を生み出す力を育む

【本日のゴール】

- 自分の内なる**動機 (WHY)** を明確にする
- 想いを「**形**」に変えるためのツール = **知的財産**を理解する
- 他者の権利を尊重しながら、自分の**価値創造を磨く姿勢**を身につける

将来、人生におけるどんな場面であっても、
『**WHY (なぜやりたいか)**』を自分の中で定めることで、乗り越えていくための原動力になる



- 1.すべての原動力は、あなたの「WHY？」
- 2.ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう
- 3.価値創造の味方「知的財産」というツール
- 4.価値創造におけるグランドルールを理解する
- 5.まとめ：あなたは価値創造の主役である



💡 本日のゴール 1

自分の内なる**動機 (WHY)**
を明確にする

OUTLINE

1. すべての原動力は、あなたの「WHY？」
2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

✍️ 本日のゴール 2

想いを「**形**」に変えるための
ツール=**知的財産**を理解する

OUTLINE

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

🧠 本日のゴール 3

他者の権利を尊重しながら、
自分の**価値創造を磨く姿勢**を
身につける

OUTLINE

4. 価値創造におけるグラウンドルールを理解する
5. まとめ：あなたは価値創造の主役である

■ 学習ステップ

学習ステップ：



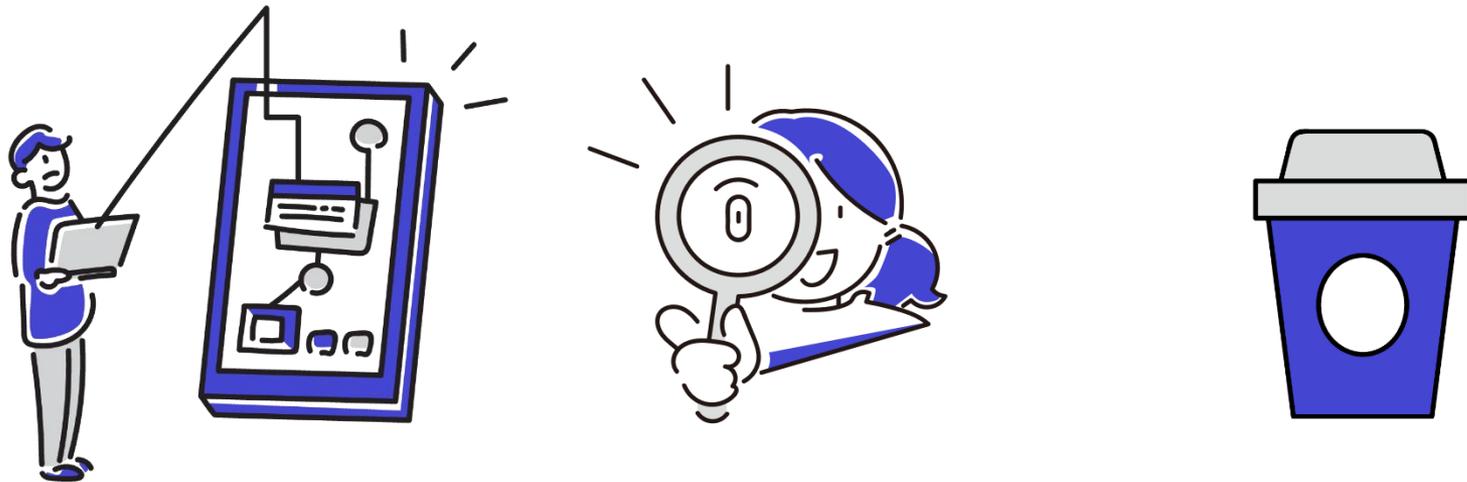
- 1.すべての原動力は、あなたの「WHY？」
- 2.ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう
- 3.価値創造の味方「知的財産」というツール
- 4.価値創造におけるグランドルールを理解する
- 5.まとめ：あなたは価値創造の主役である

1.すべての原動力は、あなたの「WHY?」

すべての価値創造は、あなたの小さな「なぜ?」から始まる。

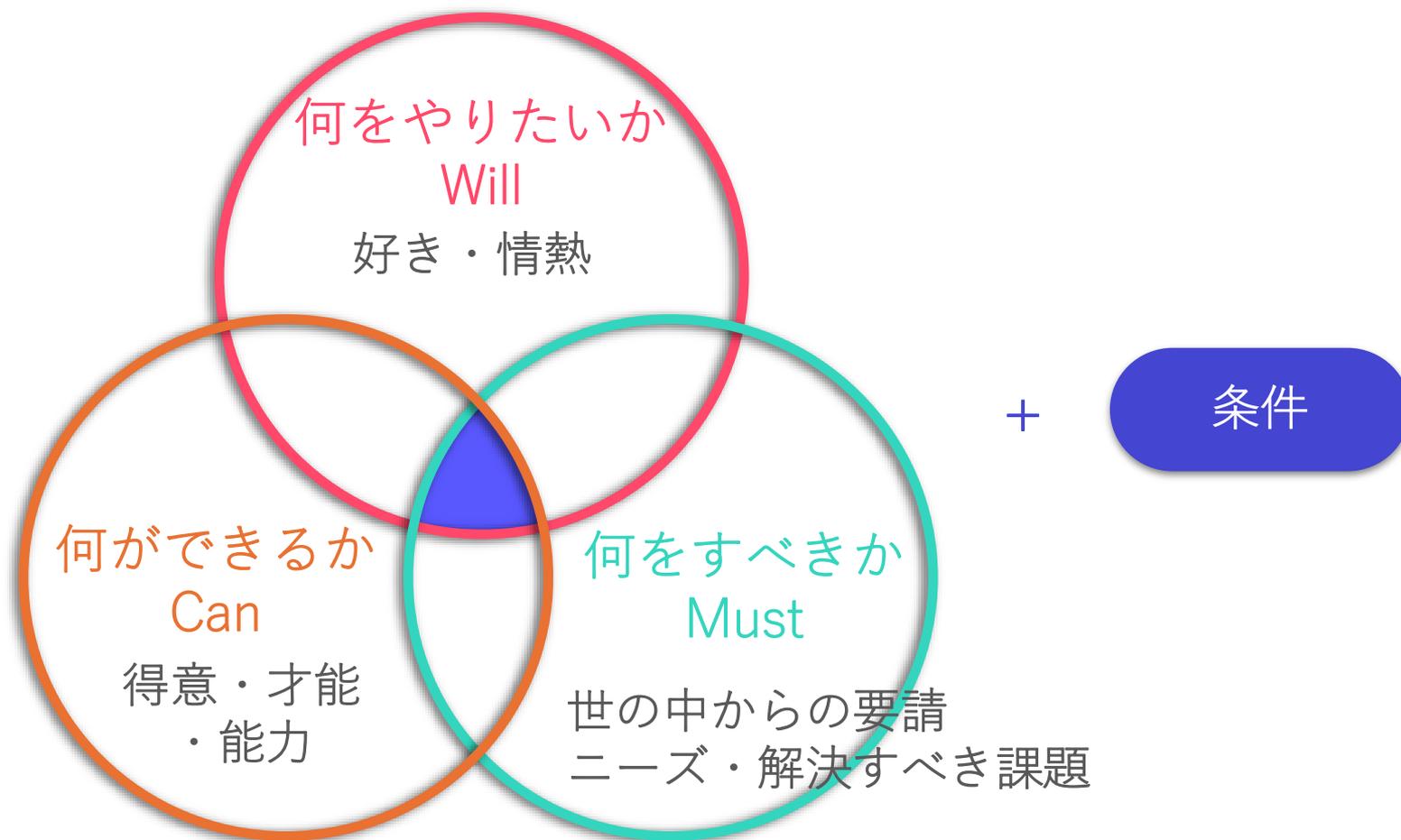
最初は、たった一人の

「もっとこうだったら良いのに」「この問題を解決したい」という想いから始まっている



■1.すべての原動力は、あなたの「WHY?」

「想い」を探るには自分自身を見つめ直し、言語化することが重要



1.すべての原動力は、あなたの「WHY?」

ペアワーク「動機の共有」

あなたが思う「自分らしさ」とは？

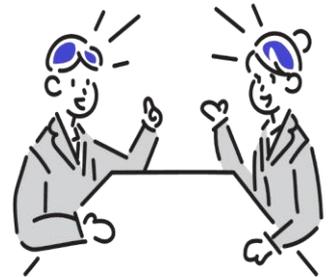
あなたは、なぜ本講座を学びたいと思いましたか？

(6分)

【進め方】

- 1.隣の人とペアになり、まずは自己紹介（名前,ニックネームなど）を行ってください(30秒ずつ)
- 2.隣の人と「自分の思う自分らしさ」を紹介し合ってみてください(1分ずつ)
- 3.なぜ、本講座を学びたいと思ったのか、隣の人にその問いに対する答えや今感じていることを共有してください(1.5分ずつ)

例：「社会を良くしたいから」「こんな世の中を作りたいから」
「将来の夢を実現したいから」など



■1.すべての原動力は、あなたの「WHY？」

内なる「なぜやりたいか」こそが、価値創造の原動力



今、自分自身が共有したい想いや動機が、
あなただけのユニークな価値を生み出す
エネルギーになる

この授業のゴールは「起業」そのものではなく、
この原動力を明確にすること

1.すべての原動力は、あなたの「WHY?」

想いを具体的な価値に変える「知的財産」

あなたの想いは社会を変える可能性を秘めている

「情熱」だけでは社会にインパクトを与えるのは難しい

想いを具体的な価値に変えるための「味方やツール（ヒト・モノ・カネ etc...）」が必要

この授業では、特に強力な味方となる「知的財産」を、より良い価値創造をするための実践的なツールとして紹介

知財は、技術やテクノロジーなどだけではなく、デザインや文書などにおいても関わりがあるため、理系文系に関わらず、皆に関係があります



- 1.すべての原動力は、あなたの「WHY？」
- 2.ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう
- 3.価値創造の味方「知的財産」というツール
- 4.価値創造におけるグランドルールを理解する
- 5.まとめ：あなたは価値創造の主役である

2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

個人ワーク

あなたが「情熱を注げること」「解決したい社会課題」は何か？

(7分)

【進め方】

ワークシートの3つの問いについて記入してください

▼**情熱**：あなたが時間を忘れて没頭できること、純粹に「好き」なことは何ですか？

(例：人と話す、分析する、美しいものを見る、テクノロジー、自然、教えること)

▼**課題**：あなたが「もっとこうだったら良いのに」と感じる社会や大学生活等の身の回りの困りごと・不満・不安・課題は何ですか？ ※自身から半径3m以内の課題は？

(例：満員電車が辛い、情報が多すぎる、地域との繋がりが薄い、環境問題)

▼最後に、あなたらしい「**価値創造のテーマ**」を一行で言語化します

「私は、○○（情熱・好きなこと）を活かして、△△（課題）を解決し、□□な状態を創りたい」

2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

個人ワーク

あなたが「情熱を注げること」「解決したい社会課題」は何か？

(記入例)

①情熱：
時間を忘れて没頭できること、
純粋に「好き」なことは何ですか？

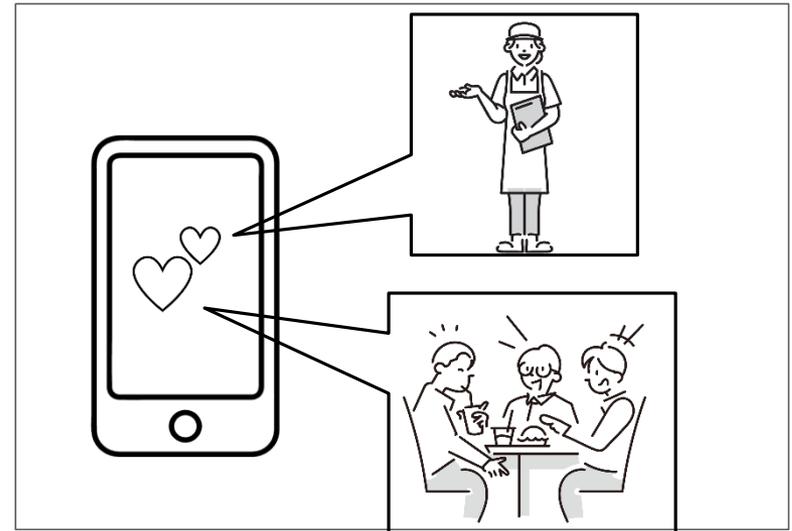
- スマホで美味しそうな食べ物の写真を撮ったり、思い出写真で動画を作成すること
- SNSで投稿して、フォロワーからコメントのやりとりをすること
- 「もったいない」をなくす工夫を考えるのが好き。

②課題：
「もっとこうだったら良いのに」と感じる社会や身の回りの課題・不満・不安は何ですか？

- 大学の学食で、閉店間際にたくさんの食事がまだ残っているのに、捨てられてしまうこと（フードロス）。
- 夕方にお腹が空いている学生は多いはずなのに、その情報がうまく伝わっていない。
- 安くて美味しいものを食べたいけど、いつ何が残っているか分からないので、結局コンビニに行ってしまう。

③あなたらしい「価値創造のテーマ」を
言葉と絵にしてみよう

私は、SNSでの発信力や写真・動画編集スキルを活かして、学食のフードロスという課題を解決し、お腹を空かせた学生と、美味しい食事を届けたいお店の両方がハッピーになるな状態を創りたい



ペアワークでの気づきメモ

- ✓ペアの人も、夕食前にお腹が空いている時に「何か安く食べられたらな」と思っていた。（共感）
- ✓「閉店間際って、具体的に何時ごろから安くなるんだろう？」と聞かれて、自分も詳しく知らないことに気づいた。（新たな視点）
- ✓相手は「アプリがあったら便利じゃない？」と言っていた。自分はSNSしか考えていなかったけど、それも面白いかも。（アイデアの広がり）

■2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

ペアワーク

隣の人と「情熱を注げること」「解決したい社会課題」についてシェアしてみよう！

(8分)

【進め方】

最初のペアで前半（4分）、後半（4分）で話し手・聞き手に分かれる

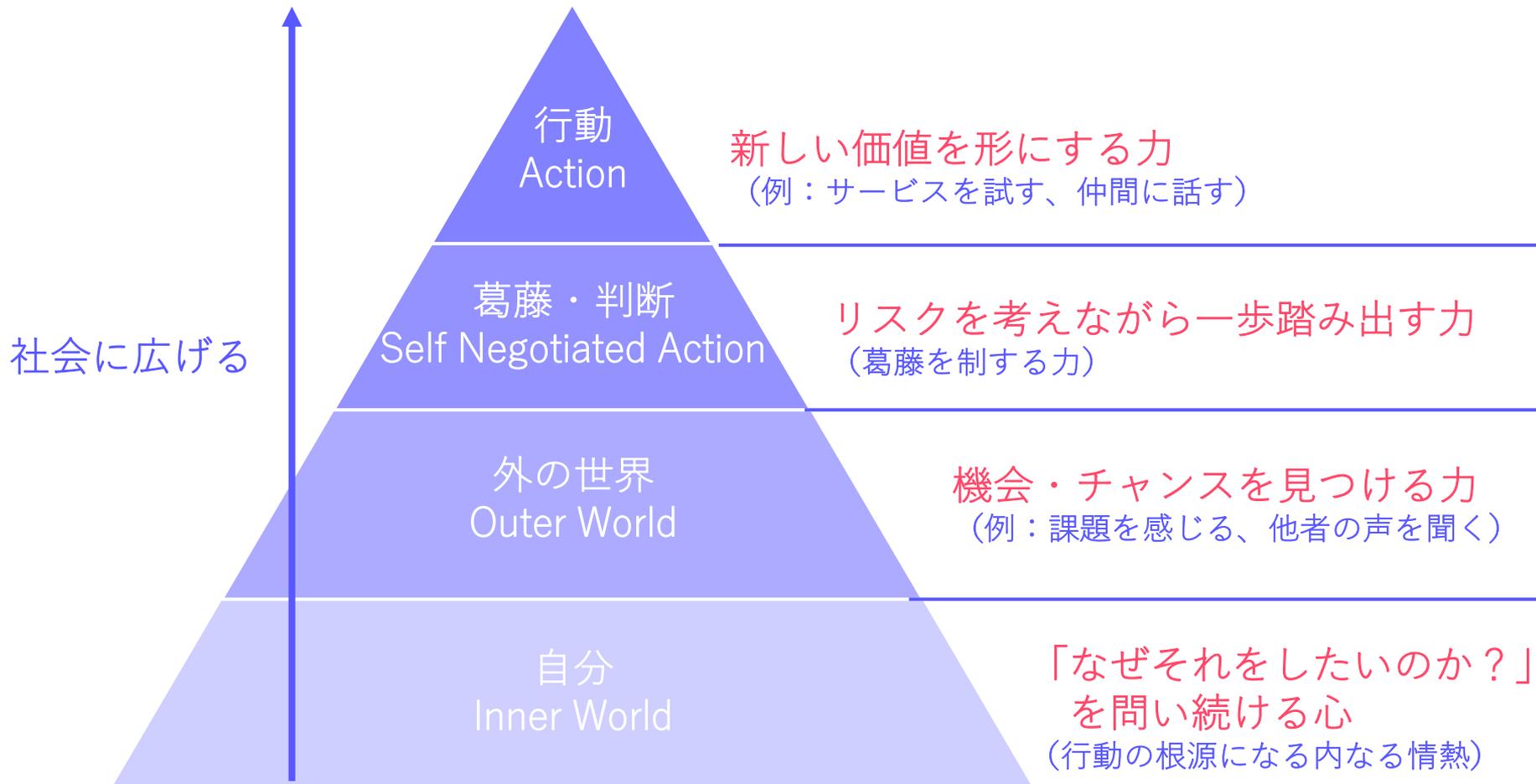
話し手はワークで考えた「価値創造のテーマ」を共有

聞き手は、相手の話した内容で「良かった点（実現可能性、その人らしさなど）」「もっと良くなるアイデア」をフィードバックする



2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

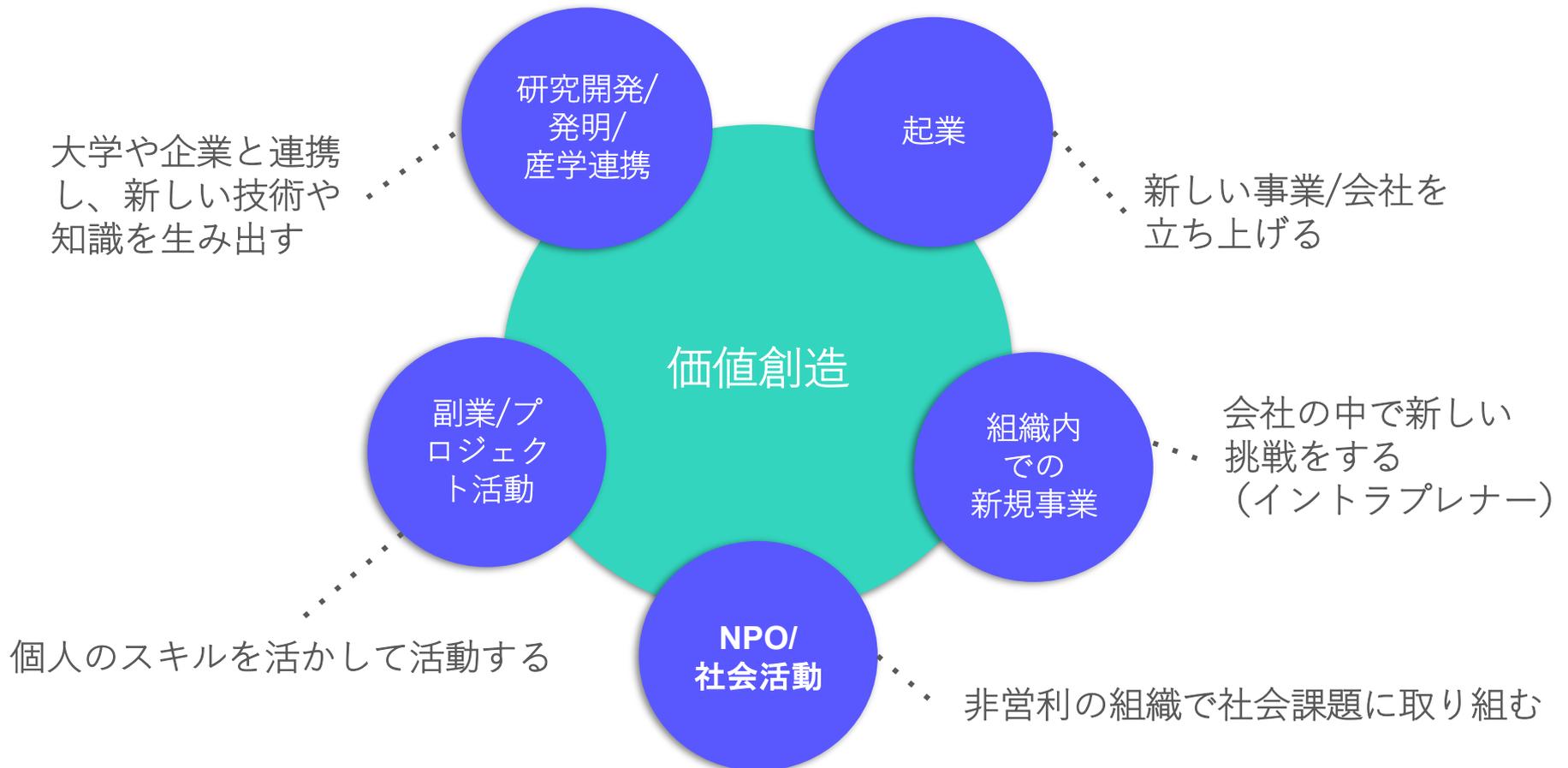
価値創造のカギは自身と向き合うこと



2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

価値創造の形は、一つではない

あなたの「WHY」から始まる理想や課題解決を実現する方法は、無数にある



- 1. はじめに：すべての原動力は、あなたの「WHY？」
- 2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう
- 3. 価値創造の味方「知的財産」というツール
- 4. 価値創造におけるグランドルールを理解する
- 5. まとめ：あなたは価値創造の主役である

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

知的財産と知的財産権の関係

- そもそも**知的財産**とは？
人間の知的活動によって生み出されたアイデアや創作物の総称
- **知的財産権**とは？
特許権、意匠権、商標権その他の知的財産に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益に係る権利のこと



知的財産の中には、**知的財産権**によって
法律上保護されるものがある

出典：日本弁理士会、「知的財産権とは」．(<https://www.jpaa.or.jp/intellectual-property/>)

特許庁、「知的財産権について」．(<https://www.jpo.go.jp/system/patent/gaiyo/seidogaiyo/chizai02.html>)

独立行政法人中小企業基盤整備機構、「知的資産と知的財産権（特許等）の違いを教えてください。」．(<https://j-net21.smrj.go.jp/qa/org/Q1114.html>)

■ 3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

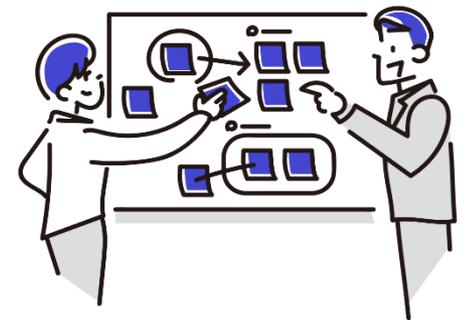
知的財産権の一部紹介

- **特許権** . . .
発明と呼ばれる比較的程度の高い新しい技術的アイデア（発明）を保護
- **商標権** . . .
自分を取り扱う商品やサービスと、他人が取り扱う商品やサービスとを区別するための文字やマーク等（商標）を保護
- **意匠権** . . .
物や建築物、画像のデザイン（意匠）を保護

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

1分間で、身近にある発明について考えてみよう

この製品の何が発明でしょうか？



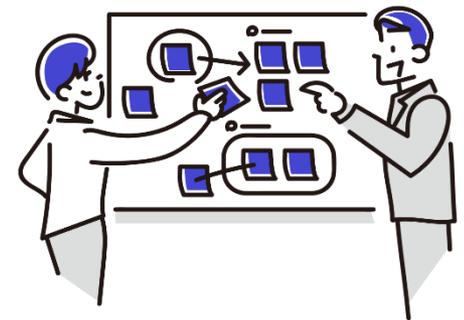
3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

ボトル用のキャップは、特許権により保護されている



特許権

ボトル用のキャップは
特許を取得している

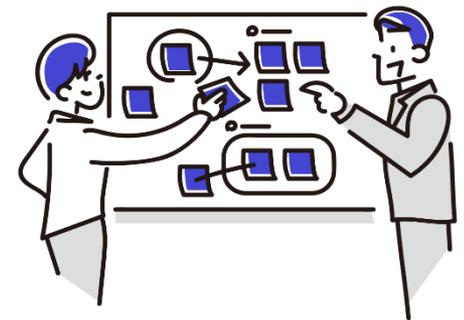


出典：キッコーマン株式会社公式HPを基に特許庁が作成。（<https://www.kikkoman.co.jp/kikkoman/shinsen/>）
特許第5727888号。（<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-5727888/15/ja>）

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

1分間で、身近にある発明について考えてみよう

この他にも保護されている権利があります



3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

商品名は**商標権**、形状は**意匠権**により保護されている



出典：キッコーマン株式会社公式HPを基に特許庁が作成。(<https://www.kikkoman.co.jp/kikkoman/shinsen/>)

意匠登録第1443164号。(<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/DE/JP-2011-012979/30/ja>)

商標登録第5734218号(<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/TR/JP-2014-067180/40/ja>)

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

知財制度の本質的な価値（特許制度の例）

① 発明の恩恵



「新しいアイデアを生み出した人が報われる仕組み」
 (= 権利を独占できる期間があるから、挑戦する人が増える)

② 知恵をみんなで共有



「特許などを公開・共有することで、他の人がムダな発明をしなくて済み、さらに良いものを生み出しやすくする」
 (= 社会全体で効率よく知識を使える)

③ 挑戦が循環する社会



①と②を基盤に新しい技術や文化などが次々に生まれ、健全なイノベーションと共に、社会全体が豊かになる
 (産業の発展、公益の実現)

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

知財制度の本質的な価値（特許制度の例）

① 発明の恩恵



「新しいアイデアを生み出した人が報われる仕組み」
 (= 権利を独占できる期間があるから、挑戦する人が増える)

② 知恵をみんなで共有



「特許などを公開・共有することで、他の人がムダな発明をしなくて済み、さらに良いものを生み出しやすくする」
 (= 社会全体で効率よく知識を使える)

③ 挑戦が循環する社会



①と②を基盤に新しい技術や文化などが次々に生まれ、健全なイノベーションと共に、社会全体が豊かになる
 (産業の発展、公益の実現)

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

知財制度の本質的な価値（特許制度の例）

① 発明の恩恵



「新しいアイデアを生み出した人が報われる仕組み」
 (= 権利を独占できる期間があるから、挑戦する人が増える)

② 知恵をみんなで共有



「特許などを公開・共有することで、他の人がムダな発明をしなくて済み、さらに良いものを生み出しやすくする」
 (= 社会全体で効率よく知識を使える)

③ 挑戦が循環する社会



①と②を基盤に新しい技術や文化などが次々に生まれ、健全なイノベーションと共に、社会全体が豊かになる
 (産業の発展、公益の実現)

■3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

知的財産の捉え方

想いを磨く「知的財産」という実践的なツール

知財は、先人たちが悩み、考え抜いた課題解決のアイデアが詰まった
巨大なデータベース
これを活用することで、自分のアイデアを効率的にブラッシュアップ
できる

J-PlatPatの活用

特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を活用すれば、誰でも無料で特許・実用新案・意匠・商標を検索可能

<https://www.inpit.go.jp/content/100884842.pdf>



3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

知財制度の本質的な価値（特許制度の例）

① 発明の恩恵



「新しいアイデアを生み出した人が報われる仕組み」
（＝権利を独占できる期間があるから、挑戦する人が増える）

② 知恵をみんなで共有



「特許などを公開・共有することで、他の人がムダな発明をしなくて済み、さらに良いものを生み出しやすくする」
（＝社会全体で効率よく知識を使える）

③ 挑戦が循環する社会



①と②を基盤に新しい技術や文化などが次々に生まれ、健全なイノベーションと共に、社会全体が豊かになる
（産業の発展、公益の実現）

- 1. はじめに：すべての原動力は、あなたの「WHY？」
- 2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう
- 3. 価値創造の味方「知的財産」というツール
- 4. 価値創造におけるグランドルールを理解する
- 5. まとめ：あなたは価値創造の主役である

■4. 価値創造におけるグランドルールを理解する

価値創造におけるグランドルール

①他者のアイデア・努力を尊重する

知的財産は「自分のアイデア・努力を守る味方」であると同時に、
「他者のアイデア・努力を尊重するためのルール」でもある

誰もが自由に模倣してしまえば、新しい技術や文化は生まれない

他者の権利を尊重することは、社会全体の利益を守り、
将来のあなた自身の挑戦が尊重される環境を創ることにつながる



4. 価値創造におけるグランドルールを理解する

悪意無く他者の権利を侵害してしまい、トラブルになることもある
「知らずに作ったブランドのネーミングが…」

大学生のAさんは、仲間とカフェ向けのオリジナルドリンクブランドを立ち上げました

SNSで話題になり、地元のイベントにも出店ところがある日、「**商標権侵害の可能性が**あります」というメールが届きます

Aさんたちが使っていたブランドのネーミングは、既に他社が登録していた商標と**似たもの**だったので悪意はなく、フリー素材を少しアレンジしただけ



でも、結果的に出店停止・在庫廃棄・ブランド変更を余儀なくされました

参考動画

参考動画：「スタートアップは突然に…【season4最終回】 グローバルは突然に…
<https://www.youtube.com/watch?v=0IVm8ud2-U&t=36s>

■4. 価値創造におけるグランドルールを理解する

価値創造におけるグランドルール

②仲間と価値を「共に創る」

イノベーションのアイデアは、一人の情熱から始まる。
しかし、それを社会に広げ、形にしていくには**仲間の力**が欠かせない

だからこそ、共同で挑戦するときには、
自分だけが成果や利益を独占しようとせず、
共に考え、共に創り、共に分かち合う姿勢が大切である

その信頼関係こそが、
次の協働を生み出し、より大きな価値を社会に届ける土台となる



■ 4. 価値創造におけるグランドルールを理解する

ペアワーク

「明日からできるアクション」

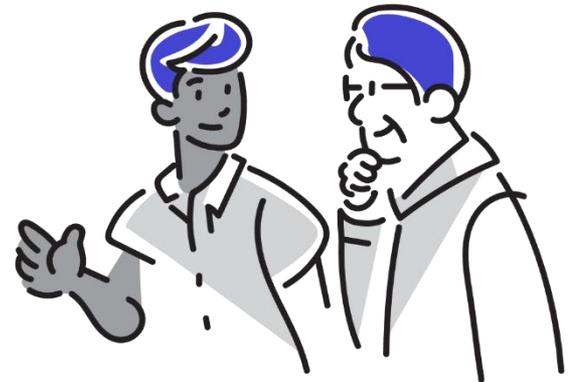
(8分)

【進め方】

最初のペアで前半（4分）後半（4分）で話し手・聞き手に分かれる

話し手は今日の講義を通して考えた「明日からの一歩」を共有

聞き手は、相手の話した内容で「こんなこともやってみては？（提案）」
「一緒にやってみたいこと」をフィードバックする



- 1. すべての原動力は、あなたの「WHY？」
- 2.ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう
- 3.価値創造の味方「知的財産」というツール
- 4.価値創造におけるグランドルールを理解する
- 5.まとめ：あなたは価値創造の主役である

5. まとめ：あなたは価値創造の主演である

- WHYの重要性：
あなたの**内なる動機**がすべてを動かす
- 知財の有用性：
先人の知恵を借りて、**アイデアや行動を磨き続けよう**
- 継続することの大切さ：
大切なのは、完璧なスタートではなく、
小さな一歩を重ねること



■ 5. まとめ：あなたは価値創造の主役である

- あなたが**価値創造の主役**である：
知財も活用し、一歩ずつアイデアを磨き続けていこう。



本講座の振り返り



🧠 本日のゴール 3

他者の権利を尊重しながら、
自分の**価値創造を磨く姿勢**を
身につける

✍️ 本日のゴール 2

想いを「**形**」に変えるための
ツール=**知的財産**を理解する

💡 本日のゴール 1

自分の内なる**動機 (WHY)**
を明確にする

OUTLINE

1. すべての原動力は、あなたの「WHY?」
2. ワーク：自分らしい価値創造を描いてみよう

OUTLINE

3. 価値創造の味方「知的財産」というツール

OUTLINE

4. 価値創造におけるグラントルールを理解する
5. まとめ：あなたは価値創造の主役である

APPENDIX

アントレプレナーシップとは
様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず
自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神をいう

アントレプレナーシップの 醸成



動機付け

- ・自分の興味・関心への気づき
- ・社会課題への気づき



コンピテンシー

- ・アイデアを生み出す創造力
- ・仲間と力を合わせる協働力
- ・アイデアを実現する行動力
- ・リスクに立ち向かう精神力
など

アントレプレナーシップの 発揮

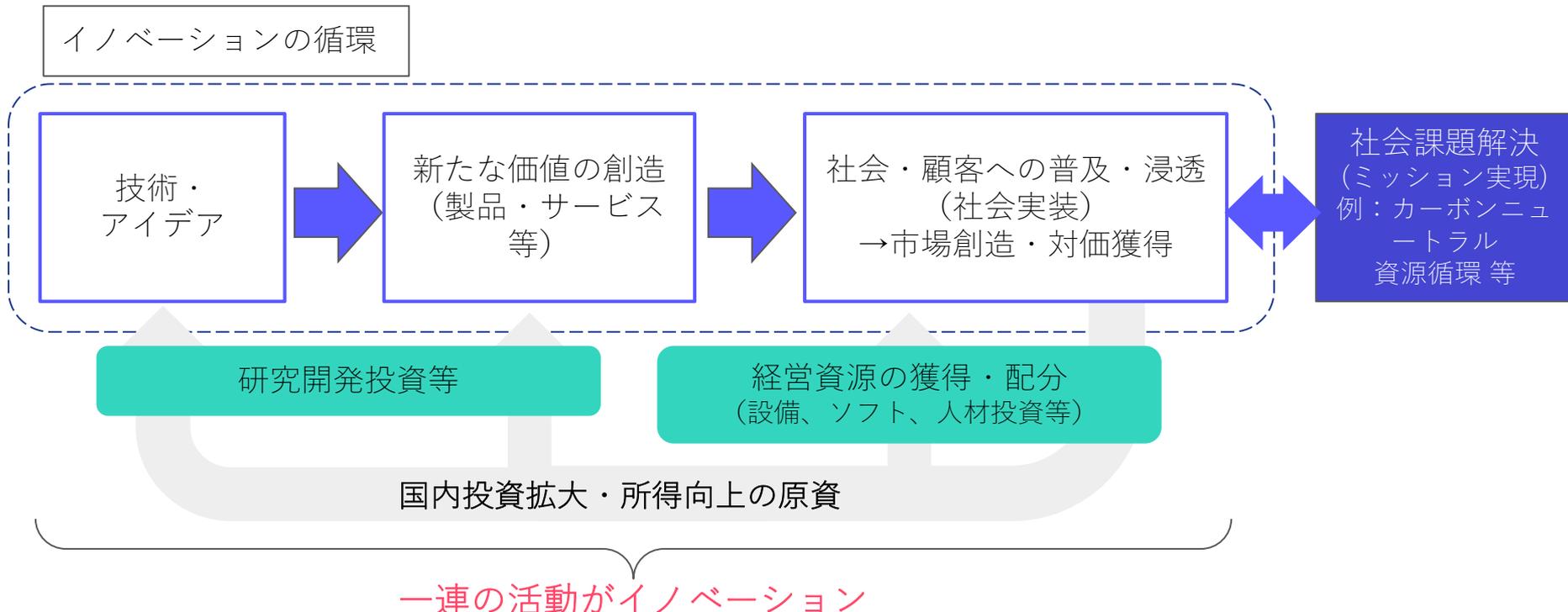


社会実践

- ・実際に事業を進めていくにあたって必要な専門知識、実践の機会

■ APPENDIX.イノベーションとは

1. 社会・顧客の課題解決につながる革新的な手法（技術・アイデア）や既存手法の新たな組合せで新たな価値（製品・サービス等）を創造し、
2. 社会・顧客への普及・浸透を通じて、
3. ビジネス上の対価（キャッシュ）の獲得、社会課題解決（ミッション実現）に貢献する一連の活動



出典：令和 年 月 産業技術環境局「イノベーションを生み出す企業経営と市場創出について」

(https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/kenkyu_innovation/pdf/029_02_00.pdf)

イノベーションによる解決が期待される社会課題リスト2025



■ APPENDIX. J-PlatPatとは

J-PlatPatとは

- 独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）が提供する公式データベース
- 特許・実用新案・意匠・商標を検索できる
※著作権（文章・音楽・画像など）は検索できない

J-PlatPat以外にも・・・

- Espacenet（エスパスネット）
欧州特許庁が提供する無料の検索サービス
- PATENTSCOPE（パテントスコープ）
WIPO(世界知的所有権機構)が提供する無料の特許検索サイト
- Google PATENT（グーグルパテント）
Googleが提供する無料の特許検索サイト

など、様々な検索ツールがある！



APPENDIX. J-PlatPatの使い方

J-PlatPatの使い方

J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）は誰でも無料で検索可能



The screenshot shows the J-PlatPat homepage. A red box highlights the search area. A red arrow labeled '1' points to the radio button for '特許・実用新案' (Patent/Utility Model). Another red arrow labeled '2' points to the search input field containing the text '1)人工知能 特2019-00012X'. A blue hand icon points to the search button.

トップページの簡易検索では番号やキーワードから手軽に知財情報を検索できます。

- 1** 検索対象の法域[特許・実用新案]を選択します。
- 2** [4182222]と入力して、[検索]を押します。
- 3** 検索結果一覧が表示されます。
特許4182222を押してみましょう。
- 4** この特許の内容が確認できます。



The second screenshot shows the search results for '特許4182222'. A red arrow labeled '4' points to the search bar at the top of the results page. Below the search bar, the patent title '特許4182222' is displayed, followed by a list of search results with details like '特許4182222' and '特許4182222'.

価値創造の形は、一つではない

あなたの「WHY」から始まる理想や課題解決を実現する方法は、無数にある

今回は「●●●」に
フォーカスして説明

